



## 株式会社マイナビ 「2023年冬のボーナスと転職に関する調査」結果

調査対象	正社員として働いている20～50代の男女のうち、2023年10月に転職活動を行なった人、または今後3か月で転職活動を行なう予定の人（3か月以内に中途入社した人を除く）		
調査方法	インターネット調査	有効回答数	1,318人
調査時期	2023年11月1日～11月6日		

転職の理由は人それぞれだが、賞与は大きな理由の1つかもしれない。賃上げの気運が高まっている昨今の状況を考えると、なおさらだ。転職と賞与に因果関係はあるのか。実際に転職活動を行なっている人、転職の意思がある人を対象にした調査結果から、その関係性をみてみたい。

### 賞与が理由で4人に1人が転職

賞与が少ないことを理由に転職した経験がある人は、回答者全体のうち、62.5%だった。およそ4人に1人に当たる25.4%の人が、「（賞与が少ないことが）1番大きな転職理由だった」と回答している。

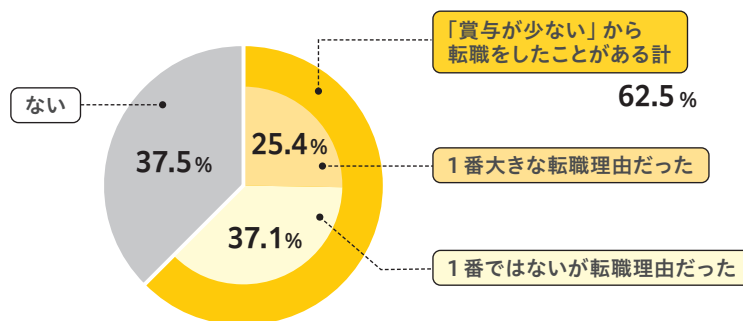
また、「（賞与が少ないことが）1番ではないが転職理由だった」と回答した人（37.1%）に転職理由を挙げてもらったところ、「賞与以外の給与（月給）が低かった」と回答した人が17.9%で最も多くなっている。

### 賞与は会社の勢いを示すバロメーター

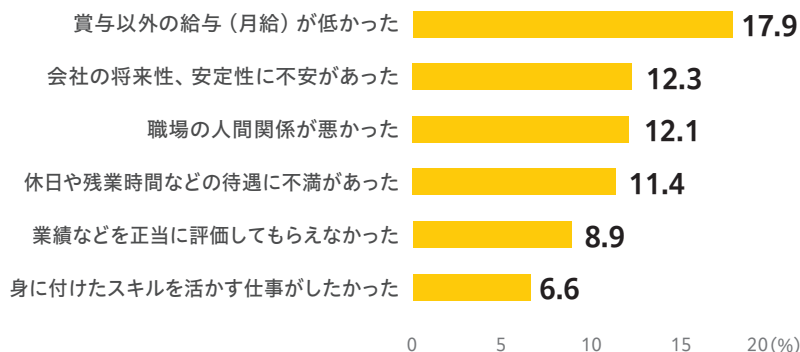
賞与や給与以外の転職理由をみると、会社の将来性や安定性に対する不安、職場の人間関係、休日や残業時間などの待遇や不当な評価、スキルを活かせない、などが挙げられている。こうした職場に対する不安や不満を押しつけて、報酬の多寡が転職に走らせるきっかけになっているのは間違いなさそうだ。

## 賞与が少ないことを理由に転職した経験のある人は 62.5%

「賞与が少ない」ことが理由で転職をした経験がある人の割合 (n=1,318)



「賞与が少ない」以外の主な転職理由 【上位抜粋 (n=489)】



賞与は、会社の業績や従業員の日頃のパフォーマンスなどが反映された結果である。そういう意味で、賞与は会社の勢いや将来性、安定性を示すバロメーターといえるのではないだろうか。従業員の

やる気を促し、働きやすい環境の整備はもとより、人材の定着や確保につながる報酬制度の設計が求められている。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）